

段間罫

[axf:column-rule-*](#) を指定して段間に罫線を引けます。段間罫は `axf:column-rule-color` で色、`axf:column-rule-length` で長さ、`axf:column-rule-style` でスタイル、`axf:column-rule-width` で幅などが指定できます。AH Formatter V7.2 以降では `axf:column-rule` で `border-width`、`border-style`、`color`、`column-rule-display` をセットするショートハンドが有効です。1 ページ目は `axf:column-rule-style="solid"`、`axf:column-rule-width="thick"`、`axf:column-rule-color="#BBFFBB"` として、段間罫が指定されています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

このページでは、段間罫のスタイルを `axf:column-rule-style="groove"` と指定しています。また、段間罫の引き方を指定する `axf:column-rule-display="all"` で段のない場所へも段間罫を引いています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには1枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が1ページ毎に記録されている。

このページでは、段間罫を 2 ページ目の指定 `axf:column-rule-width="20pt"`、`axf:column-rule-style="groove"`、`axf:column-rule-color="#BBFFBB"`、`axf:column-rule-display="all"` と同様に引かれるようショートハンドプロパティで `axf:column-rule="20pt groove #BBFFBB all"` のように指定しています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。